



共生舎 教室だより

2022年2月10日号
発行人 高橋 慎吾

北海道
スタイル



当教室も実践しております。宜しく
お願い致します。

一足早くサクサク！

【入試速報】

合格おめでとうございます！

☆対面受講生 2名

・北海道大谷室蘭高校 1名

・北海道登別明日中等 1名

☆オンライン受講生 1名

・陸自高等工科(一般) 一次試験

☆専門学校生 1名 施工管理技士2級



学力テストも好調！

中1生、中2生も、先日の学力テストでは、11月よりも、少し成績が伸びています。もちろん得点の伸びもあるのですが、答案の内容から、「できることを少しずつ増やす」という意識が見えています。

また、冬休み中「スタディクリニック」を実施した生徒さんは、問題への向き合い方や、戦略の立て方への意識も芽生えてきています。

「もっとできるようになるには、どうしたらよいか」

自分で考えて、実践してみようという意識。塾生同士の会話の中でも増えてきています。効率や能率は大事ですが、自分で考える時間を作るのも大事なことと感じます。

*小学生の部

小6生の中学入学前準備や、まん延防止等重点措置の発出もあり、分散出席のお願いをしています。寂しい思いをさせているかと思いきや、みんながその趣旨をわかってくれました。

そして、自分達その日にやるべきことを、自分なりに整理して、それぞれのペースで学びを進める姿に、頼もしさをかんじています。



*中学生の部

中3対面授業では、1名が合格を決め、残る4名もそれぞれの目標や、その先を見据えた学びをそれぞれ進めています。過去問演習から、今までの知識のおさらいを進め、必要に応じて説明を加えていく段階に入りました。コロナ禍の影響を強く受けた学年ということもあり、それぞれ逞しい成長を感じます。

1・2年生も次の学年に向けて、この1年を振り返り始めています。1年生は新メンバーも迎え、ほどよい空気の引き締めを感じ始めています。

*高校生の部

対面授業では、レギュラーの2年生の通塾回数が増え、1年生も忙しい折にはオンラインの活用をしてくれています。また、オンライン授業では、1年生が数学の重点指導に加え、英検に向けた作戦を一緒に練るなど、指導の幅がさらに広がりました。知識の「点」を「線」につなぐ指導を今後も継続します。

*対面 募集要項

- ・小学生 高学年若干名
- ・中学生 各学年3名程度
- ・高校生 若干名

※開講日時はホームページの

月間予定表を参照願います

※紹介をお願いします！



Online Coaching

新規対面塾生募集と オンラインブランド化

*オンライン授業のブランド化

運営主体、内容は、従来と変わりません。しかし、室蘭の外にもスムーズに市場を拡大するため、この度"55learning"としてロゴ、Webの整理等、ブランド化を行うことと致しました。

"55learning"と銘打った理由は次の2点です。

①新しい学習指導要領が掲げる、「主体的・対話的で深い学び」や、他地域の人との出会いから広がった世界に、どんな学生さんも進んで行けるようにする

②講師が学生さんの置かれている状況や気持ち等に寄り添いに行けるようにする

このオンライン授業では、対面授業の学生さんとのハイブリッド、学校に行けない学生さん用の時間枠、対面授業の学生さんのオンライン振替にも対応しています。

詳細は右のQRコードよりご覧下さい。

55learning by 共生舎



形になるまで挑戦すること

私とLINE/Facebook/Twitterなどで繋がっている方はご存知かもしれませんが、実は私、LINEスタンプの販売も始めています。イラストに自信があるわけではなかったのですが、挑戦してみると、思いの外、それらしくなってきたようにも思います。

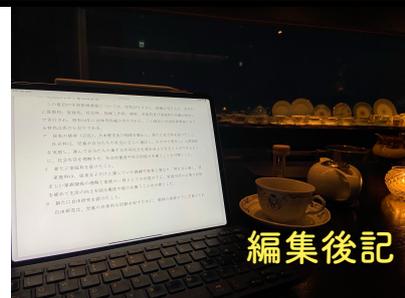
また、この教室の案内のパンフレットやチラシも、ずっと私がデザインをし続けて来ました。誰をターゲットに、どんなことを訴えかけていくのか、どこまでの内容を書いていくのか、果たしてみなさんが読んでくれるだろうか…など、毎回毎回試行錯誤。

実は私自身、水面化でずっと、Webデザイン、配色、文書作成、などなど…目に見えないところで長年勉強をし続けています。かといってプロのように、どこがどうなっている、などと言えるものではないのですが、長い間続けてきて思ったことがあります。

イラストにしろ、デザインにしろ、プロからすると当然粗がたくさんあって、それだけでは「生業」にはできないでしょう。しかし、完璧ではないことを理由に、自分が今学んでいることを無駄だと決めつけてしまうのはもったいない。思い通りにならないことを理由に、やめてしまうのはもったいない。

これは、学業にも同じことが言えるのだと思いました。いまわからないからずっとわからない？今苦手だからずっと苦手のまま？そんなことは、誰が決めたのでしょうか？

しかし、苦手なことでも続けることには、エネルギーが必要です。私は、自分のこの、不器用でもめげない姿から、そのエネルギーをお届けできれば…と考えています。



編集後記